

金融機関を味方にすれば企業は強くなる！（第10回）

ネット銀行は企業のメインバンクになり得るか？

2017.06.28



中小企業向け融資の取り扱いを始めるネット銀行が増えています。2015年にはジャパンネット銀行（JNB）、昨年2016年には楽天銀行が取り扱いを開始しました。

ネット銀行は、実店舗を最小限にしてインターネットを介した取引を中心とする金融機関です。相性がいいネット通販決済に使ったり、金利面などで魅力がある住宅ローンを借りたりと、個人として利用している方は少なくないと思います。

一方、企業はネット銀行は送金手数料が低く、リアルタイムで入金状況も確認できることから、入出金に特化した決済ツールとして活用するケースが目立っていました。しかし、これからは融資面でもネット銀行の存在感が高まっていく可能性があります。

金融機関には、預金・決済・融資の3つの機能が求められます。ネット銀行は預金・決済のツールとしては申し分ないのですが、融資機能が手薄なことが企業のメインバンク選びの上でマイナスに働いてきました。

2016年11月に帝国データバンクが公表した「全国メインバンク調査(2016年)」によると、ネット銀行に代表される新しい形態の銀行がメインバンクであると回答した企業は全体のわずか0.07%にとどまります。中小企業融資に本格参入したJNB・楽天銀行の2行がネット銀行の殻を打ち破れるのでしょうか。

JNBは Yahoo!サービスとの提携がメイン… 続きを読む